## 市指定文化財〈史跡〉

対地氏墓所 動が氏墓所 動が見たが 動をありたかのはか 動地則隆の墓 指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市深川



菊池初代則隆については、藤原後胤説や菊池土豪説などの諸説がある。大宰府の 荘管としてこの地に赴任した則隆は、延久2年(1070)、深川に居館「菊之城」を構え、 ここを本拠として肥後国一円に散在する所領を管理していたとされる。深川は菊池平野 の東部に位置し、且つ菊池川舟運の発着地点でもあった。「菊之城」は土塁と堀壕で囲 まれた広い屋敷を持つ館であったと思われる。後に守山城に移るまで、この居館を中心 に営々として領内の開発に努め、さらに菊池氏歴代惣領が南朝方に味方した拠点で あった。

則隆は永保元年(1081)に死亡し、深川村上原に葬られたとされるが、その墓(五輪塔)は文化15年(1818)に造られ、明治・大正と3回の工事を経て、現在に至っている。 墓の基壇には古墳の石材が利用され、古老の話では墓の下に朱塗りの石棺が埋まっているという。